

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	公民館運営管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公民館の「地域づくりの拠点」としての機能を高めるほか、市民の生涯学習内容の充実を図る
対象 ※誰、何に対して	別府公民館、尾上公民館以外の市立公民館10館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	職員の資質向上や、事業の積極的な情報発信を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	9,310 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	648 千円
	一般財源	8,662 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	010公民館運営管理事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	9,310 千円	9,544 千円	8,631 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	研修への参加により、職員の資質向上は図られている。また、定期的な公民館だよりの発行をはじめとした情報発信も行えた。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	公民館運営管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口（4／1付推計人口）	人	266,100		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
研修等参加数	回	43		
活動指標分析結果	1人あたりの研修参加数は1回強であり、今後も機会を逃さず、計画的に資質向上を行っていく必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	877,870	903,754	934,787	平成28年度	878,000
成果指標分析結果	総人口の減少に伴い、利用者数も減少傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	ガイドブックの内容をホームページで掲載し、より広く情報発信を行う。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民が自主的・自発的に学習活動を行い、生きがいを持ち、心豊かに暮らすことができるよう、多様な学習機会の情報を提供することによって、学習活動で習得した知識・技術等の成果を地域に還元する。
対象 ※誰、何に対して	生涯学習の機会を求める市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	多彩な学習機会の情報を掲載した「生涯学習ガイドブックすてっぷ」の内容をホームページに掲載し、気軽に検索が可能な環境を作る。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	507千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	507千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	01社会教育総務費
細目	010生涯学習推進事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	507千円	753千円	742千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	生涯学習ガイドブックすてっぷの作成により、生涯学習の情報提供、普及啓発は効果的に行われている。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	公民館維持補修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	建設から相当年経過した館も多く、バリアフリー化や必要とされる設備の更新等を行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	適切な維持補修および定期的な施設保守を行うことで施設寿命の延長を図る。
対象 ※誰、何に対して	別府公民館、尾上公民館以外の市立公民館10館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	維持管理及び施設保守

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	81,901千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	15,814千円
	一般財源	66,087千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	040公民館維持補修事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	81,901千円	91,191千円	88,588千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 公民館の施設保守および危険防止に努めているが、施設の老朽化に伴い、突発的な修繕箇所が増加している。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	公民館維持補修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	尾上公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成27年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	尾上地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。また、当館は指定管理者が管理運営しており、その独自性を活かして事業展開を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営を行うことにより生涯学習推進体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	尾上公民館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	20,682千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,244千円
	一般財源	18,438千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	010公民館運営管理事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	20,682千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者による地域の実情に即した管理運営が円滑に行われている。今後は地域の実情に即した事業展開及び設備の更新等を行うことで、住民のさらなる利用促進を図り、地域の生涯学習活動拠点を目指す。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	尾上公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口（4／1付推計人口）	人	266,100		

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
開館日数	日	343		
活動指標分析結果	予定通りの開館日数となった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
施設利用者数	人	101,165	98,330	116,166	平成28年度	101,200
成果指標分析結果	人口の減少に伴い、利用者数も減少傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	別府公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成19年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	別府地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。また、当館は指定管理者が管理運営しており、その独自性を活かして事業展開を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営を行うことにより生涯学習推進体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	別府公民館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	22,550千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,135千円
	一般財源	20,415千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	010公民館運営管理事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	22,550千円	22,269千円	21,650千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者による地域の実情に即した管理運営が円滑に行われている。今後は地域の実情に即した事業展開及び設備の更新等を行うことで、住民のさらなる利用促進を図り、地域の生涯学習活動拠点を目指す。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	別府公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口（4／1付推計人口）	人	266,100		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
開館日数	日	342		
活動指標分析結果	予定通りの開館日数となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	107,263	109,559	105,011	平成28年度	107,400
成果指標分析結果	人口の減少に伴い、利用者数も減少傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	高齢者学習事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法

【事業概要】

現状と課題	高齢者人口は増加しているが、受講者数は横ばいまたは減少傾向にある。また、学習したことを地域活動につなげることが十分ではない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	高齢者の生きがいの創造及び地域における高齢者のボランティア活動などへの参加促進を図る。・高齢者の学習意欲の高揚及び地域活動の機会の提供
対象 ※誰、何に対して	市内の高齢者(60歳以上)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	高齢者大学及びOB会の自主的な運営の支援・学習の成果を地域に還元できるものを重点とした講座等の開催

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,784千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,784千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	060生涯学習事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,784千円	2,524千円	1,953千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	趣味や教養を高めるための知識を習得するといった自己完結型な学習だけでなく、学習成果を活用することを視野に置き、学びの循環を構築することが必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	高齢者学習事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
60歳以上の人口(4月住民基本台帳)	人	84,245	83,114	81,777

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
講座開催回数	回	282	283	272
活動指標分析結果	高齢者の学習を支援することに加え、学習成果をボランティア活動や地域づくりに活かせるような内容の講座を開催していく。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
講座参加者数	人	1,488	1,486	1,596	平成28年度	1,649
成果指標分析結果	高齢者人口は増加しているが、受講者数は横ばいまたは減少傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	社会教育委員、推進員設置事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市社会教育委員条例、加古川市社会教育推進員設置に関する条例

【事業概要】

現状と課題	核家族化の進行に伴い、家庭の教育力の低下が指摘されており、学校、家庭、地域の連携による教育が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	・社会教育委員会議を通して、社会教育の進行を図る。 ・社会教育に携わる指導者や地域のリーダーを養成するとともに、その資質や能力の向上を図る。
対象 ※誰、何に対して	社会教育委員、社会教育推進員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	・社会教育委員会議の開催 ・社会教育推進員の設置、研修によるリーダー養成

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	13,399 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	13,399 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	01社会教育総務費
細目	005社会教育委員、推進員設置事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	13,399 千円	13,257 千円	13,120 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地域づくり、生涯学習の推進には、今後も社会教育委員、社会教育推進員による地域に根ざした活動が不可欠である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	社会教育委員、推進員設置事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市社会教育委員数	人	14	14	14
社会教育推進員数	人	395	394	391

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
社会教育委員会議開催回数	回	5	5	6
社会教育推進員研修会開催回数	回	2	2	2
活動指標分析結果	社会教育委員会議においては、年間5回開催し、社会教育行政について意見をいただいている。社会教育推進員研修会は、全推進員を対象に年2回開催し推進員としての資質向上を図る。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
社会教育委員会議参加率	%	88.6	84.3	79.8	平成28年度	90
社会教育推進員研修会参加率	%	75.7	64.3	67.6	平成28年度	75
成果指標分析結果	推進員の全市研修会参加率は75.7%と昨年度より11.4%増となった。今後も引き続き参加啓発が必要である。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	成人式実施事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	民法、国民の祝日に関する法律

【事業概要】

現状と課題	平成12年度より実施していた同窓会事業に、平成24年度より社会貢献事業を新たに加えて記念事業とし、各中学校単位で新成人自らが企画・運営しており、参加者の評価は概ね良好である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	新成人を祝うとともに、社会人としての自覚を促す。
対象 ※誰、何に対して	当該年度中に20歳に到達する者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	成人式記念式典を実施するとともに、新成人自らが各中学校単位で成人式記念事業を企画・運営する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	2,535千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,535千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	01社会教育総務費
細目	010生涯学習推進事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	2,535千円	2,642千円	4,079千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業全体にわたり新成人の参画による運営をしており、社会人への自立と自覚を促す事業として概ね良好な結果を得ている。今後は新成人がさらに主体的に地域に貢献できる事業を企画することが課題である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	成人式実施事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
当該年度20歳到達者数	人	2,867	2,724	2,756

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
成人式記念式典参加者数	人	1,700	1,600	1,600
成人式記念事業(社会貢献事業)参加者数	人	97	166	114
成人式記念事業(同窓会事業)参加者数	人	1,814	1,698	1,710
活動指標分析結果	記念式典及び同窓会事業は約6割の参加率となっており、概ね良好な参加率となっているが、社会貢献事業は1割以下の参加率であり、参加率を伸ばす工夫が必要である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成人式記念式典参加者満足度	%	43.2	45	38	平成28年度	50
成人式記念事業(社会貢献事業)参加者満足度	%	82.4	74	77	平成28年度	75
成人式記念事業(同窓会事業)参加者満足度	%	65.5	64	63	平成28年度	75
成果指標分析結果	社会貢献事業は目標値を上回ったものの、記念式典・同窓会事業は下回ったため、より満足度があがるような内容としていく必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習創出事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法

【事業概要】

現状と課題	学習を活かした自己実現とともに、学習の成果を活かすための取り組みの必要性が増加。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	参加者自らの教養を高める
対象 ※誰、何に対して	生涯学習に関心をもつ市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地域の生涯学習の拠点、また社会教育施設としての目的に則した講座等の開催

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	3,730千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,857千円
	一般財源	873千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	060生涯学習事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	3,730千円	3,605千円	3,555千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民が自発的意思にもとづき、自己に最適な手段・手法を選んで生涯を通じて行う生涯学習を支援する施策として、様々なニーズに応じた講座等を行う中核的な場としての公民館機能を果たしている。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習創出事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口（4／1付推計人口）	人	266,100	267,148	268,001

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
講座開催回数	回	1,118	1,008	1,108
活動指標分析結果	受講者の学習ニーズが多様化し、学習内容が画一的なものでは不十分になってきた。開催回数はもとより内容も重要視される傾向が強くなってきた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
講座参加者数	人	2,764	1,728	2,181	平成28年度	2,764
成果指標分析結果	地域性豊かなプログラムをニーズに応じて実施している。今後さらに幅広い世代に広げる工夫をし参加者数の増を図る必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	地域リーダー養成事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法

【事業概要】

現状と課題	地域の人々、友人、世代を超えた人々との間の「顔の見える」助け合いにより行われる「互助」の必要性がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域コミュニティ活動を活発化のための様々なリーダーの養成を図る。
対象 ※誰、何に対して	目的をもって既に活動している公民館内の登録団体会員・社会教育推進員・少年団指導者・新たな活動のリーダーを担う者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	事業目的を達成するために効果が得られる講座。地域課題の解決、より良い地域づくりをするための具体的な学習及び活動(登録団体、社会教育推進員、少年団等を対象とした学習会等の実施)

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	423千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	423千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	055地域コミュニティ事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	423千円	414千円	574千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>今後は、知識を習得するといった自己完結型な学習だけでなく、学習成果を次のリーダーに引継ぐことを視野に置いた、学びの好循環を構築することが必要である。地域リーダーの資質向上にも寄与している。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	地域リーダー養成事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口（4／1付推計人口）	人	266,100	267,148	268,001

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
講座開催回数	回	122	111	108
活動指標分析結果	ボランティア養成講座など地域で活躍できるリーダーを養成する機会を増やす。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
講座参加者数	人	2,356	2,444	1,863	平成28年度	2,356
成果指標分析結果	さらに多くの参加者数の増を図り、ボランティアとして活動していただける方を増やす。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	地域学講座事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	公民館を地域交流拠点・絆づくりの拠点と位置づけ、地域コミュニティの活性化を図るため、平成23年度において公民館事業の再編を行った。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	居住する地域を愛する意識の高揚を図るとともに、各地域において伝統伝承などの語り部の育成を図る。
対象 ※誰、何に対して	居住地域に関心をもつ市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各公民館エリアの歴史・文化・産業などをテーマとした講座を開催する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	910千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	707千円
	一般財源	203千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	055地域コミュニティ事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	910千円	1,034千円	1,093千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	平成28年度から、本事業を「ガイドボランティア等を養成する地域人材育成事業」と「地域について学ぶ生涯学習創出事業」に統合・再編して実施する。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	地域学講座事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	266,100	267,148	268,001

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
講座開催回数	回	84	86	93
活動指標分析結果	地域の歴史や文化などを学び、ふるさとへの愛着を深めるとともに、学んだ人たちがガイドボランティアとして活動するような意欲を持てるような講座を開催している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
ボランティア希望者数	人	29	45	45		
講座参加者数	人	303	380	406		
成果指標分析結果	平成23年度から事業を実施しているが、講座参加者はほぼ横ばいであり、地域を学ぶことにニーズがあると考えられる。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	図書館に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	昭和46年度～永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、加古川市立図書館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	市民の高度な学習要求が高まっている中、市民の要望に応えるため、図書館サービスの充実に努める必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	図書館が市民の社会教育を支えとともに、地域の文化力の向上を担っていく。
対象 ※誰、何に対して	加古川市に居住、通勤、通学している者及び播磨地域に居住している者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	図書館を快適に利用できるように環境整備を行う。また、スマートフォンへの対応や電子図書館サービスの提供等利便性を向上するため、図書館システムの更新を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	22,391千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	121千円
	一般財源	22,270千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	10図書館費
細目	005図書館に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	22,391千円	21,408千円	22,527千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	図書館システムの運用や市内の各図書館への書籍等の資料搬送等により図書館業務の円滑化を図るとともに、より快適に利用できる環境を整え、効率的な運営とサービスの向上に努めていく。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	図書館に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	図書館維持補修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	昭和46年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、加古川市立図書館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	市立図書館2館は、耐用年数を相当超えた施設・設備が多く、また、建設当時の特殊な施設等のため、修繕が困難な箇所も多い。このため、故障の頻度が年々高くなってきている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市立図書館2館を不具合なく管理することで、それぞれの利用者が安全かつ快適に利用できるようにする。
対象 ※誰、何に対して	中央図書館及び加古川図書館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	中央図書館(指定管理者負担部分を除く加古川総合文化センター東棟)及び加古川図書館の施設・設備の維持管理を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	21,900千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	30千円
	一般財源	21,870千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	10図書館費
細目	010図書館維持補修事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	21,900千円	21,873千円	21,193千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	中央図書館(加古川総合文化センター東棟)、加古川図書館とも老朽化による要修繕箇所が年々増加している。安全で快適な利用環境を提供するため、適正な維持管理に努めるとともに、緊急度の高いものから年次計画を立て修繕していく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	図書館維持補修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
個人貸出登録者数	人	46,958	48,954	49,146

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
開館日数	日	319	324	324
活動指標分析結果	両図書館とも老朽化が進んでいるが、設備等の定期点検を実施するとともに、緊急性の高いものから計画的に修繕を行ってきたため、計画どおり開館でき、利用者への影響はなかった。なお、5年に1回の図書館システムの更新の影響で平成27年度は開館日が減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
年間貸出人数	人	252,243	250,219	246,452	平成32年度	260,000
成果指標分析結果	加古川図書館では空調の老朽化による故障が発生したものの、両図書館とも施設の設備不良で開館できなくなった日はなく、利用者への影響はなかった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	中央図書館維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成21年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、加古川市立図書館の設置及び管理に関する条例、協定書

【事業概要】

現状と課題	昭和60年に開館した中央図書館（加古川総合文化センター東棟）は老朽化が進行し、耐用年数を越えた設備も多くなっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	中央図書館を不具合なく効率的に管理することで、利用者が安全かつ快適に利用できるようにする。
対象 ※誰、何に対して	中央図書館（加古川総合文化センター東棟）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	中央図書館の維持管理に要する業務（設備管理運転、清掃、警備等）を加古川総合文化センター本部棟と併せて行う。（費用は加古川総合文化センター指定管理者と按分）

【コスト】

	平成27年度（決算見込）	
事業費合計	14,589千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	14,589千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	10図書館費
細目	010図書館維持補修事業

【コスト推移】

	平成27年度（決算見込）	平成26年度（決算）	平成25年度（決算）
事業費合計	14,589千円	14,592千円	14,239千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	中央図書館（加古川総合文化センター東棟）の維持管理を行うためには必要不可欠な事業である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	中央図書館維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	読書啓発事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	昭和46年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字活字文化振興法

【事業概要】

現状と課題	市民の高度な学習要求が高まっているなか、適切に潜在的な要求に即応した図書を選定及び購入、読書啓発が効果的に実施できる講座等の開催など、事業展開をするうえで課題は残されている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	図書館が市民の社会教育を支えるとともに、地域の文化力の向上を果たす。
対象 ※誰、何に対して	加古川市に居住、通勤、通学している者及び播磨地域に居住している者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	幅広い利用者のニーズに即応できるよう必要かつ計画的に図書や資料の収集に努め、利用者に資料や情報を提供するとともに、おはなし会や各種講座等の集会行事の開催により読書啓発を図る。また、レファレンスサービスを充実し、市民の学習を支援する。子どもの読書活動を推進するため、「加古川市子どもの読書活動推進計画」を見直し、第2次計画(平成28年度から5ヵ年)を策定する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	33,902千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	33,902千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	10図書館費
細目	005図書館に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	33,902千円	34,110千円	34,182千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	各種集会行事の実施や適切かつ効率的な資料の収集等により、地域の実情に即した読書環境の整備が施策の意図に沿って展開している。今後は、高度化・多様化する市民の読書ニーズに対応し、学習機会を提供させるため、現行事業の質的向上を図っていく。また、「加古川市子どもの読書活動推進計画」に基づいた取組みを行い、家庭及び学校園に対する読書環境の整備を推進するとともに、電子図書館サービスを開始する。障がい者や高齢者へのサービスの充実についても検討していく。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	読書啓発事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
個人貸出登録者数	人	46,958	48,954	49,146

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
蔵書数	冊	500,329	496,871	495,286
レファレンス件数	回	2,074	2,085	2,215
集会行事の参加者数	人	5,538	5,619	5,497
活動指標分析結果	レファレンス件数及び集会行事の参加者数が減少したものの、蔵書数はこれまでの取組みにより、微増傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
年間図書貸出冊数	冊	822,019	812,671	805,574	平成32年度	860,000
年間貸出人数	人	252,243	250,219	246,452	平成32年度	260,000
成果指標分析結果	前年度と比べ年間図書貸出冊数が1.2%、年間貸出人数は0.8%それぞれ増加している。これは様々な広報活動の成果だと考えられる。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	青少年女性センター運営に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成2年度 ~ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立青少年女性センターの設置及び管理に関する条例、同条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	築25年以上経過し、備品の劣化・故障等が多く見られるため、修繕の必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	青少年女性センターを利用する団体に対し、施設を気持ちよく利用できる環境を整え、利用者の拡大および地域における市民サークル活動の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	青少年グループ、女性団体、子育てグループ等の青少年女性センターを利用する団体。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設及び備品の維持、管理を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	367千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	11千円
	一般財源	356千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	03青少年教育費
細目	015青少年女性センター維持管理事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	367千円	660千円	531千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民の生涯教育活動を促進し、青少年の健全育成及び女性教育の振興を図るための施設として建築され、現在もその目的に基づいて貸館業務等を行っており、使用頻度も高い。今後もニーズが見込まれるため、事業を維持していく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	青少年女性センター運営に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	青少年育成課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	青少年女性センター維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成27年度 ~ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立青少年女性センターの設置及び管理に関する条例、同条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	築25年以上が経過し、施設設備の劣化により正常な貸館業務を行えないことがある。空調機器やエレベーター等現行法に合致していない設備も見られるため、最新機種へ変更するよう業者に勧められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	青少年女性センターを利用する団体に対し、施設を気持ちよく利用できる環境を整え、利用者の拡大および地域における市民サークル活動の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	青少年グループ、女性団体、子育てグループ等の青少年女性センターを利用する団体。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	館の清掃を毎日行い、設備の点検を定期的に行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	9,687千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	992千円
	一般財源	8,695千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	03青少年教育費
細目	015青少年女性センター維持管理事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	9,687千円	9,372千円	10,484千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民の生涯教育活動を促進し、青少年の健全育成及び女性教育の振興を図るための施設として建築され、現在もその目的に基づいて貸し館業務等を行っており、使用頻度も高い。今後もニーズが見込まれるため、事業を維持していく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	青少年女性センター維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	青少年育成課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
市民(10/1付推計人口)	人	265,999		

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
開館日数	日	331		
活動指標分析結果	加古川市立青少年女性センターの設置及び管理に関する条例施行規則第2条第2項に基づく休館日を除き、適切に開館している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
加古川市立青少年女性センター施設利用者数	人	29,987			平成28年度	36,000
成果指標分析結果	平成27年度実績29,987人のうち、もっとも利用目的として多いのが「行政関係会議」で12,994人、次に「生涯教育関係事業」で9,016人、「社会教育関係団体」が6,761人となっており、「行政関係会議」が43%を占めている。					